

びわ保育園

日時：平成 18 年 8 月 30 日 (水) 13:00 ~ 17:00

平成 18 年 9 月 6 日 (水) 9:00 ~ 17:00

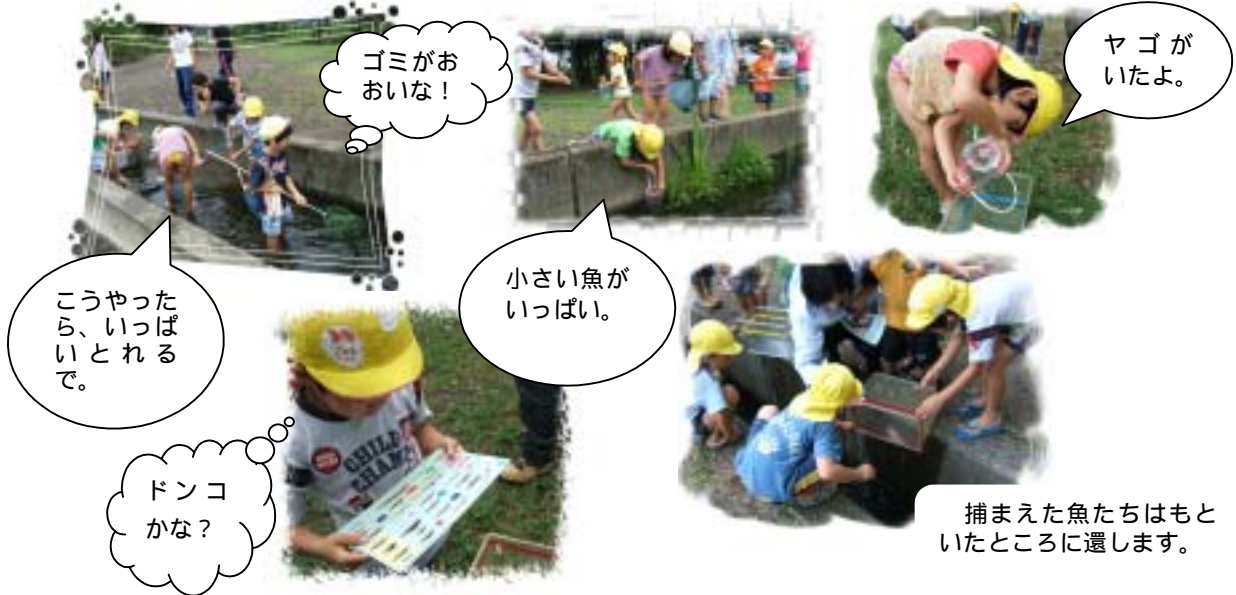
場所：長浜市新居町 472 - 1

びわ保育園では、近くにある琵琶湖畔をフィールドにしました。

琵琶湖に注ぐ水路には、たくさんの生きものがいました。松林にはまつぼっくり、水辺には貝殻や流木などが波に打ち寄せられていました。生きものや水辺の自然物を使ったプログラムができました。

「みずべのいきもの なにがいる？」のプログラム

琵琶湖に注ぐ水路の中で、生きものつかみをしてあそび、捕まえた魚を図鑑で調べました。小さい水路にも魚や貝などたくさんの生きものが見つかりました。



「さがしてみよう！集めてみよう！作ってみよう！」のプログラム

松林の中でお誕生会をします。大きなタライに砂を集め、ひっくり返してケーキの土台を作ります。くじを引き、そこに書いてあるいろいろな形をした物を探します。それらを使ってケーキの飾り付けをします。自然の中には様々な形があることに気づくプログラムができました。



「ざぶ～ん!!あらら!!」のプログラム

波打ち際で見つけてきたものや砂で、壊れないように工夫しながら山を作っていきます。作った山が波によってどうなるかを観察し、波の力強さに気づくプログラムができました。

伊吹山
ぐらい
大きく
しよう。



山のてっぺんに、宝物をのせよう。



石が守っているから、波が来ても大丈夫。

ウァ～！波ってすごい。



波と風が合体している。



風が吹いているから、波が強くなってきた！

波が怒っているで。

山がなくなつた！！



参加された先生の

声

悩んで悩んでプログラムを作ったがその苦労も無駄ではなかった。今まで自分の住んでいるところのよさを感じていなかった。自分が川に入り、実際に感じないといけないと思った。

今までの保育で、こんなに自然であそんだ経験がなかった。身近な自然で工夫しだいで遊べるのがわかった。子どもたちは自然の中では素直で、生き生きしていた。子どもたちの思いがけない姿や、つぶやきもたくさん聞け、自然のすばらしさを感じた。

子どもたちを楽しませるだけでなく、あそびを通して子どもたちに何を伝えたいのか、普段の保育ではしっかりできていなかったと思う。まとめ方が難しかったが、ふりかえりの大事さを知った。

毎日こんな保育ができればいいと思った。ブロックやゲームであそぶことが多い子どもたちが、自然のよさに気づけてよかったと思う。これからも自然のよさを伝えていきたい。

Q & A

(解答：講師 島川武治(しまっち))

Q: 水に入るときは、安全面が心配で、なかなか連れて行くことができません。どんなところに注意が必要ですか？

A: 支援者も一緒に水に入る。一番深いところに支援者が立ってください。水上を監視する者、水辺を監視する者、子どもたちの中になかに入る者、この3箇所に支援者がしっかり就くと危険も少なくなります。